

上下水道アンケート調査結果報告書

(平成 30 年 11 月実施)

池田市上下水道部

はじめに

市民の皆様には、日頃から何かと上下水道事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、貴重な時間を割いて、アンケートにご協力していただいた皆様には感謝申し上げます。水道事業と下水道事業が組織統合してから3回目(第2回:平成27年3月・第1回:平成23年3月実施)の調査を多くの皆様のご協力を得て行うことができました。

近年、日本各地で自然災害が発生し、池田市においても、特に平成30年は6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨、9月の台風21号と大規模な災害が相次ぎました。また、人口減少が予測されるなか、上下水道施設の老朽化が進み、莫大な維持管理費や更新費が見込まれており、長期的に健全な上下水道事業の運営が求められています。市民の皆様は安全で安価な水道水を安定的に供給することを目的とする水道事業と、市民生活を水害等から守る治水、浸水の防除、水質の保全を目的とする下水道事業は、その役割がますます重要となっています。

社会・経済情勢・防災意識は大きく変化し、ライフスタイルや水道水、下水処理に対する意識も変化しているものと考えられます。そこで、今回のアンケート調査は、皆様は上下水道のご利用状況と上下水道に関する率直なご意見をお伺いし、今後の事業運営の基礎資料とすることを目的として実施したものです。

今回の調査結果を参考に、将来の上下水道事業のあり方を模索し、市民の皆様は求める声を反映しながら、事業の改善とサービスの向上に努めてまいります。

池田市上下水道アンケート 調査結果報告書

[目次]

アンケート結果概要

結果まとめ・・・・・・・・・・・・・1

基本属性

問1 性別・・・・・・・・・・・・・2

問2 年齢・・・・・・・・・・・・・2

問3 同居人数・・・・・・・・・・・・・2

問4 在住年数・・・・・・・・・・・・・2

問5 住居形態・・・・・・・・・・・・・3

問6 住居地域・・・・・・・・・・・・・3

水道水の安全性

問7 水道水の飲用方法・・・・・・・・・・4

水道水の味・・・・・・・・・・・・・4

直接飲まない理由・・・・・・・・・・5

問8 高度処理と水道料金・・・・・・・・5

水道水の使用状況

問9 入浴状況・・・・・・・・・・・・・6

湯船の使用状況・・・・・・・・・・・・・6

問10 洗濯状況・・・・・・・・・・・・・7

問11 水圧状況・・・・・・・・・・・・・7

下水道の役割やしきみ

問12 下水道の役割やしきみ・・・・・・・・8

問13 下水道の取組み・・・・・・・・・・9

災害対策

問14 ボトルウォーターの購入・・・・・・・・10

購入目的・・・・・・・・・・・・・10

問15 災害時の備えと対策・・・・・・・・11

飲料水のくみ置き・・・・・・・・・・11

お風呂での水の確保・・・・・・・・11

渴水・浸水について

問16 渴水時の節水状況・・・・・・・・12

節水方法・・・・・・・・・・・・・12

問17 浸水時の準備状況・・・・・・・・13

準備方法・・・・・・・・・・・・・13

水道料金・下水道使用料

問18 独立採算制・・・・・・・・・・・・・14

問19 下水道使用料のしくみ・・・・・・・・14

問20 水道料金の値ごろ感・・・・・・・・15

高いと回答した理由・・・・・・・・15

問21 下水道使用料の料金体系・・・・16

資源の有効利用について

問22 下水処理水の有効活用・・・・17

広報・PRについて

問23 上下水道に関する情報源・・・・18

問24 広報紙「水だより」の閲覧・・・・19

未読と回答した理由・・・・・・・・19

問25 上下水道で知りたい情報・・・・20

問26 イベントの認識・・・・・・・・・・21

問27 ぴちよりの認識・・・・・・・・・・22

ぴちよりのPR活動・・・・・・・・22

上下水道サポーター会議

問28 サポーター会議の認識・・・・23

問29 サポーター会議の参加意欲・・・・23

不参加と回答した理由・・・・・・・・23

これからの上下水道に望むこと

問30 上下水道事業に望むこと・・・・24

調査票・・・・・・・・・・・・・25

【アンケート概要】

調査目的	上下水道使用者の適切な顧客ニーズを把握し、今後の上下水道事業の運営に資する。
調査対象	池田市の水需要家
抽出方法	無作為抽出法
実施期間	平成30年11月13日～11月26日
調査方法	郵送方式
依頼件数	1000世帯
回収数	442件
回収率	44.2%

結果まとめ

今回のアンケートの回答者は442名、回収率は44.2%(平成26年度51.0%、平成22年度54.1%)と前回、前々回より減少傾向にあったが、多くの市民の協力を得ることができた。

回答者の特徴としては、「50歳以上」が71.9%(前回69.0%)と7割を超えた。中高年層が大部分を占めることから、池田市に住んで「21年以上」の方が59.7%(前回57.6%)と多かった。住居形態は「一戸建て」が43.2%と最も多かったが、「5階建てまでの集合住宅」が36.9%(前回16.7%)と20.2%増加した。

水道水の飲用方法は「直接飲む」が35.1%、「浄水器を通して飲む」が26.2%、「煮沸して飲む」が25.6%と、「飲用率」は86.9%と高い値となった。また、水道水の味については「おいしい」が10.5%(前回11.6%)と過去の調査とほぼ同様の傾向となった。高度浄水処理方法導入による料金アップについては、「今のままでよい」が70.3%(前回63.9%)と7割を超え、水質向上よりも現行料金の維持を求められていた。

下水道事業については、施設の老朽化が進むなか、「老朽化施設の更新」では、91.2%(前回92.8%)と最も重要度が高いと認識されていた。また、自然災害も増えており、重要度は「耐震対策」では87.3%(前回83.3%)と高い結果となった。「浸水対策」も84.4%(前回84.7%)と高かったが、何らかの準備をするよう心掛けている方は20.8%と2割程度だった。「処理水を下水道管の清掃や散水、せせらぎ水路の水源として再利用すること」の認知度は41.2%(前回47.8%・前々回42.7%)で4割を推移しており、池田駅前のせせらぎモールのPRをさらに強化する必要がある。

上下水道についての情報源は「広報いけだ」、「水だより」が大半を占めた。一方、上下水道部の「ホームページ」や「フェイスブック」はごくわずかで、認識が低かった。誰にでも届きやすい情報源の提供が求められる。

サポーター会議については、「知らない」が9割を超えたが、「会議に関心がある」が2割弱となった。今後ともサポーター会議の案内方法を充実させ、参加しやすい環境を整える必要がある。

今回、水道事業と下水道事業との組織統合後3回目となるアンケート調査を行い、市民の意見を伺った。自然災害が増えるなか、市民の防災意識の高まりが感じられる結果となり、寄せられた回答・意見を生かし、上下水道事業運営に反映していく必要がある。また、上下水道部からの情報発信については、広報紙を除いて、十分に市民に伝わっていないことが読み取られた。今後とも、課題に向き合い、改善に取り組んでいくことが求められている。

回答者基本属性

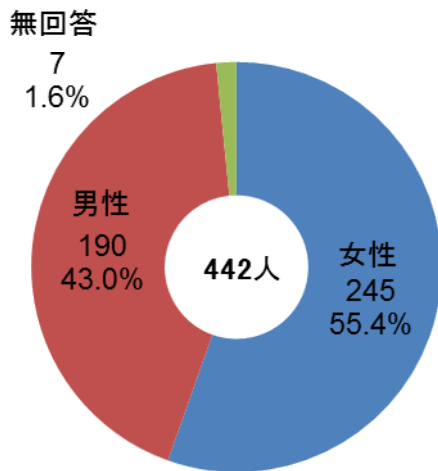
性別は、女性が55.4%、男性が43.0%と、前回(平成26年度女性が53.1%、男性が44.5%)とほぼ同様の割合で、女性の回答者が多かった。

年齢は「70歳以上」が31.9%と最も多く、次に「50歳代」が20.8%を占め、「60歳代」、「40歳代」、「30歳代」と続いた。「20歳代」については17人、「10歳代」は3人と少数で、50歳以上が増加傾向にあり、全体の71.9%(前回69.0%)と7割を超えた。

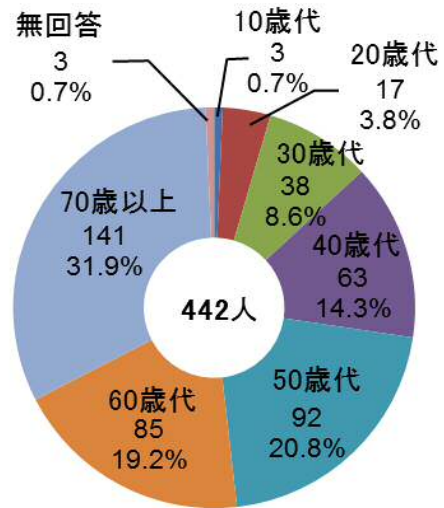
同居人数は、「2人」が35.3%と最も多く、「1人」が23.8%、「3人」が19.2%、「4人」が16.3%と続き、2~4人家族が70.8%と7割を占めた。

池田市の在住年数は「21年以上」が59.7%(前回57.6%)と、長年住んでいる方が多く見られた。

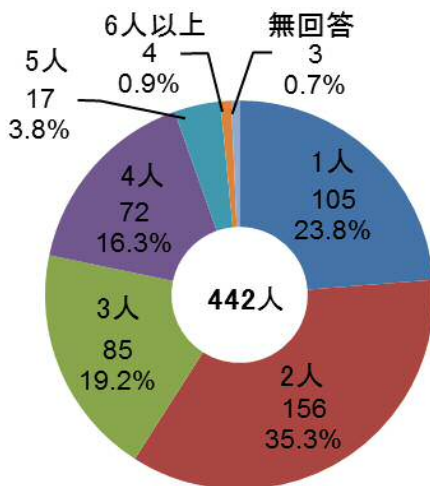
問1 性別



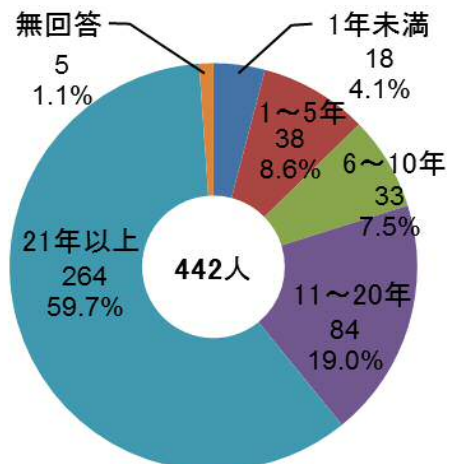
問2 年齢



問3 同居人数



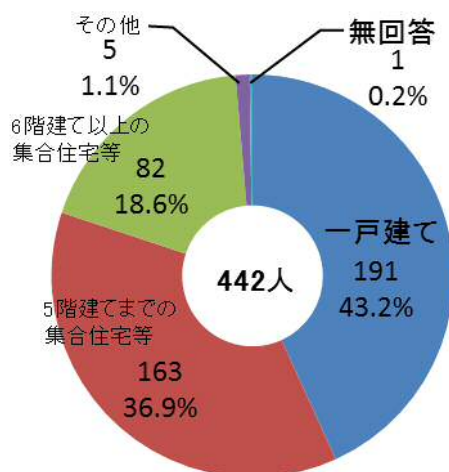
問4 在住年数



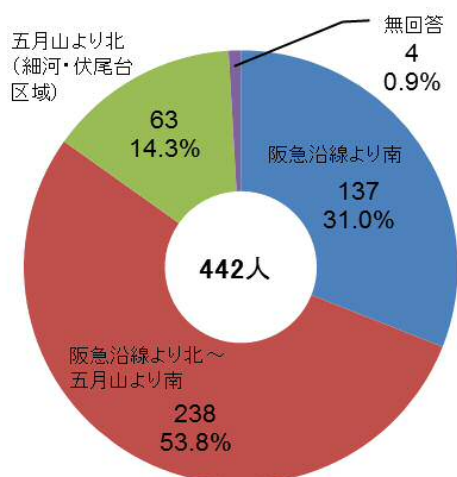
住居形態については、「一戸建て」が 43.2%と多かった。「5 階建てまでの集合住宅等」が 36.9%（前回 16.7%）で 2 番目に多く、前回と比べて 20.2%増加した。

住居地域については、人口に応じてアンケートを送付しているため、「阪急沿線より北～五月山より南」が 53.8%と半数を占めた。

問 5 住居形態



問 6 住居地域

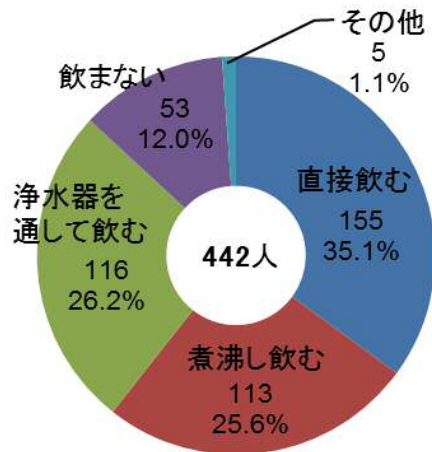


水道水の安全性

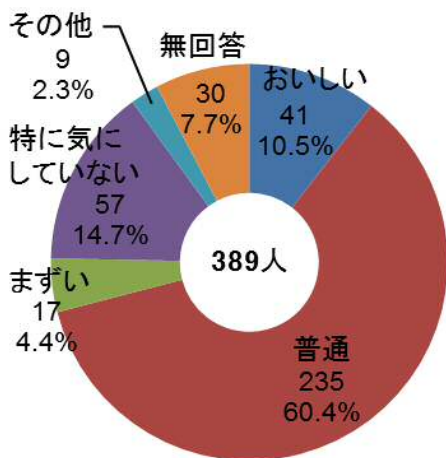
水道水の飲用方法は「直接飲む」が 35.1%と最も多く、次に「浄水器を通して飲む」が 26.2%、「煮沸し飲む」が 25.6%と続いた。また、水道水の味については、「普通」が 60.4%と半数以上の意見であった。次に「特に気にしていない」が 14.7%と多かった。

水道水の味については、過去の調査と比べると、「おいしい」が1割程度で、「普通」・「特に気にしていない」の合計が8割程度に推移し、ほぼ同様の傾向にあった。

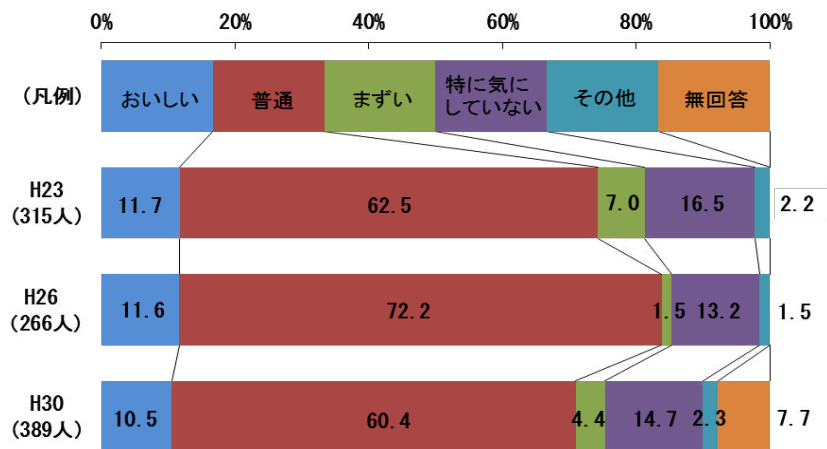
問7 水道水をどのようにして飲みますか。



● 水道水の味をどのように感じますか。

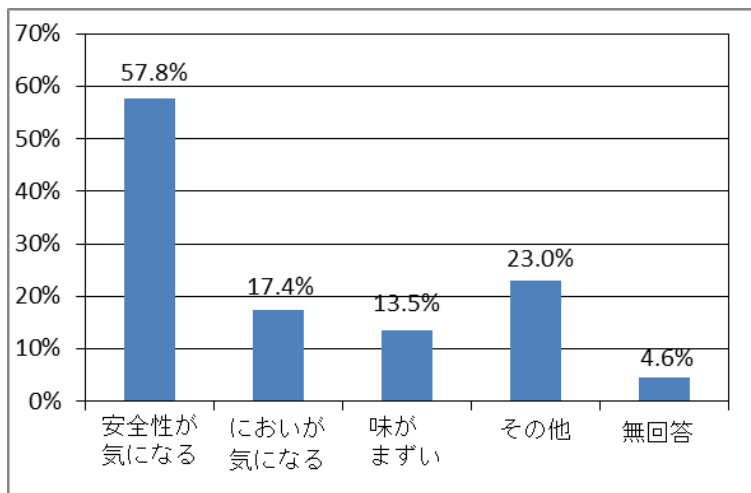


■ 過去の調査との比較



水道水をそのまま飲まない理由としては「安全性が気になる」が 57.8%と過半数であった。その他の理由としては、集合住宅の貯水タンクに一度貯められることに不安を感じる方や、もともと浄水器が備えつけられている方が多かった。

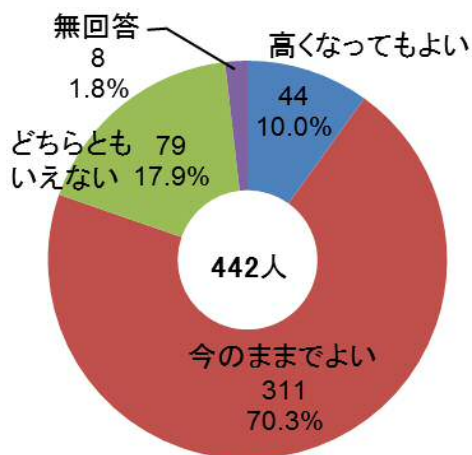
● 水道水をそのまま飲まない理由（複数回答可※）



※複数回答のため、合計が100%を超えています。

高度浄水処理の導入によって水道料金が高くなることについて、「今のままでよい」が 70.3%（前回 63.9%・前々回 51.6%）と約 7 割を占め、増加傾向にあった。一方、「高くなってもよい」という方は 10.0%（前回 15.5%・前々回 20.2%）で、減少傾向にあった。水質の向上よりも現行料金の維持を求められている。

問 8 現在の浄水処理方法をレベルアップした高度浄水処理方法があります。この高度浄水処理をすれば水道の水質はさらによくなりますが、料金は高くなります。それをどのように思われますか。

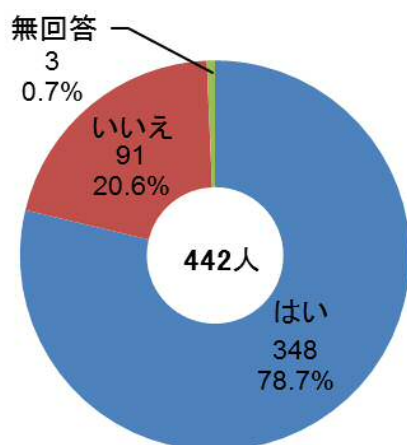


水道水の使用状況

毎日入浴する方は 78.7% で、毎日入浴しない方は 20.6% を占め、週平均頻度は 3.35 回（前回 3.25 回）であった。

毎回湯船にお湯を溜める方は 58.6% で、「いいえ（シャワーのみ）」は 13.4% だった。ときどきの方の週平均頻度は 2.57 回であった。

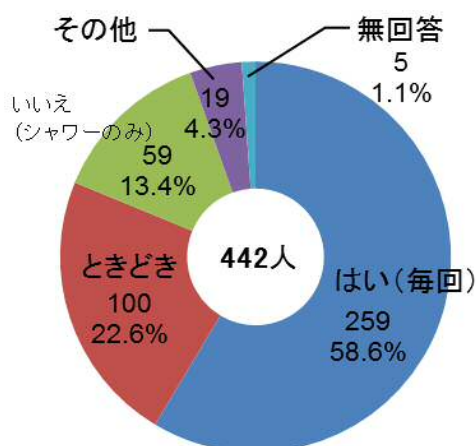
問9 お風呂（シャワーを含む）は毎日入りますか。



毎日入らない方の入浴頻度(91人)

	人数	%
週に1回	2人	2.2%
週に2回	12人	13.2%
週に3回	38人	41.7%
週に4回	20人	22.0%
週に5回	8人	8.8%
週に6回	3人	3.3%
無回答	8人	8.8%

● 湯船にお湯は溜めていますか。

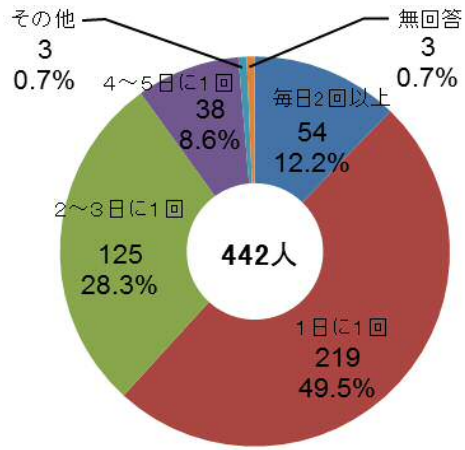


ときどきの方の頻度(100人)

	人数	%
週に1回	14人	14.0%
週に2回	29人	29.0%
週に3回	25人	25.0%
週に4回	11人	11.0%
週に5回	5人	5.0%
週に6回	0人	0%
無回答	16人	16.0%

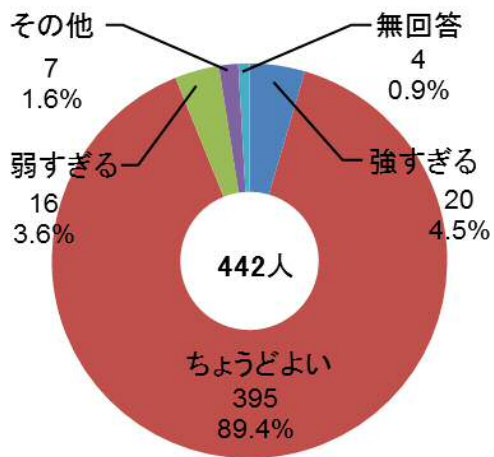
洗濯回数は、「毎日1回」が49.5%（前回45.5%・前々回42.3%）と約半数を占め、増加傾向にあった。次に「2～3日に1回」が28.3%と多かった。

問10 洗濯は何回しますか。



水道の水圧については、「ちょうどよい」が89.4%と大半を占めた。

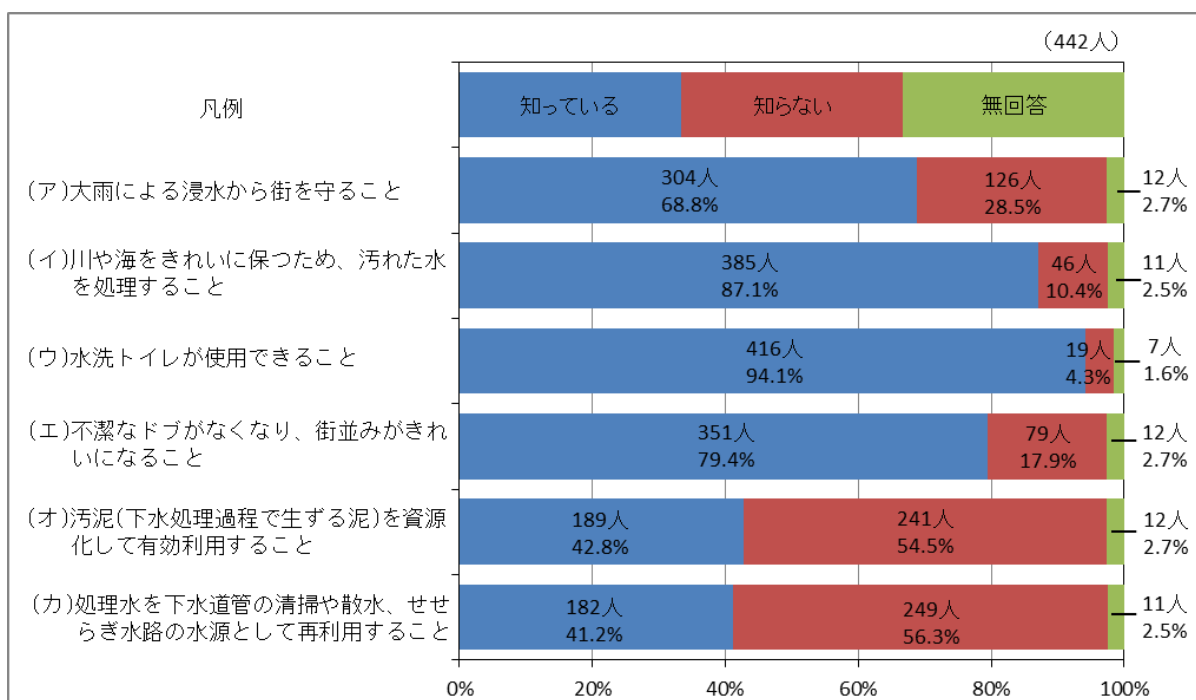
問11 ご自宅の水道の水圧をどのように感じますか。



下水道の役割やしきみ

下水道の役割として最も知られていたのは「水洗トイレが使用できること」で94.1%（前回89.0%・前々回87.4%）であった。生活に身近なところでの下水道の役割は理解されているようである。一方、「処理水を下水道管の清掃や散水、せせらぎ水路の水源として再利用すること」の認知度は41.2%（前回47.8%・前々回42.7%）で最も低く、4割程度で推移していた。下水から高度処理されて処理水となる工程や再利用状況を市民の方々に伝えていく必要がある。

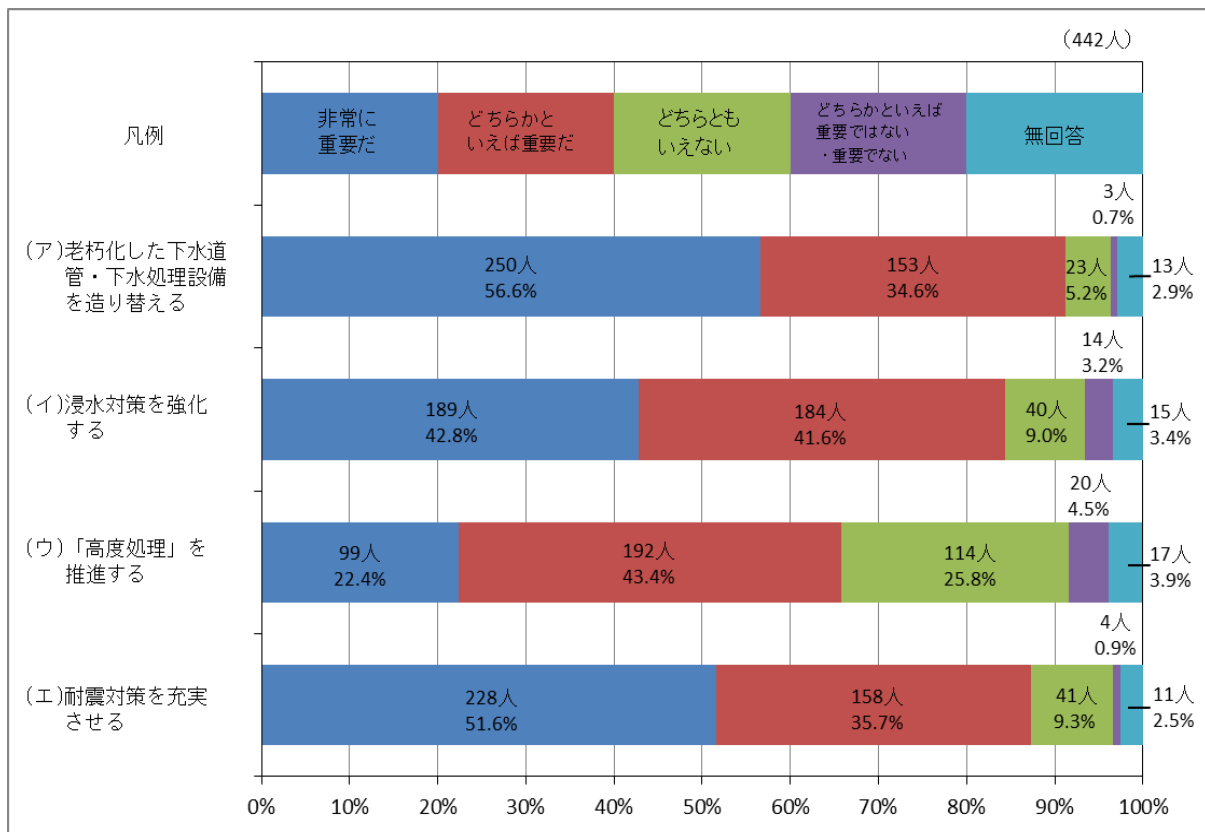
問12 あなたは次のような役割やしきみをご存知ですか。



下水道事業の取組みとしては、いずれの項目も重要度が高いと認知されており、「老朽化施設の更新」は91.2%(前回92.8%)、「耐震対策」は87.3%(前回83.3%)、「浸水対策」は84.4%(前回84.7%)と8割を超える結果となった。下水道施設の老朽化が進んだり、特に平成30年は6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨、9月の台風21号と大規模な災害が相次いだりしたため、高い結果が維持されたものと推察される。

問13 あなたは次の取組みについてどの程度重要だと思いますか。

	非常に重要	どちらかといえば重要	どちらかといえませんが重要ではない	どちらともいえない	重要でない	無回答
(ア)老朽化した下水道管・下水処理施設を造り替える	250	153	23	1	2	13
(イ)浸水対策を強化する(雨水貯留管等の整備)	189	184	40	9	5	15
(ウ)「高度処理」を推進する(川や海の水質改善)	99	192	114	12	8	17
(エ)下水道管や下水処理場などの耐震対策を充実させる	228	158	41	2	2	11

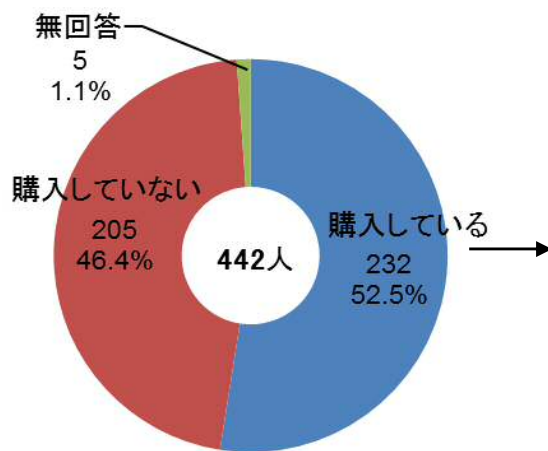


災害対策

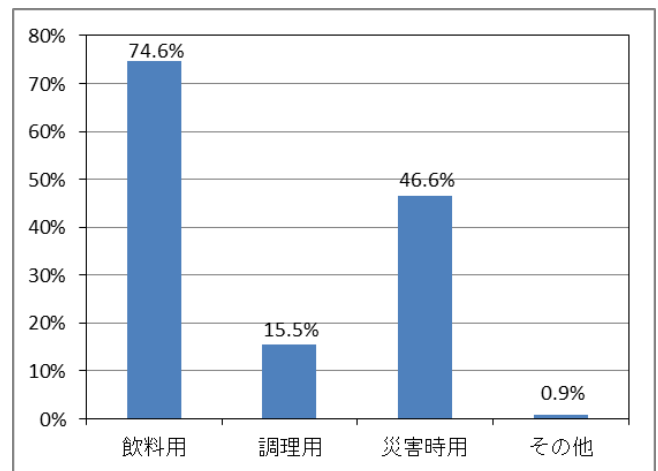
ボトルウォーターの購入率は52.5%（前回60.2%）であった。ボトルウォーターを買っている方は、「飲料用」として利用している方が74.6%と大多数であった。次に「災害時用」が46.6%と多かった。

1ヶ月の購入量は「1～5L」が31.8%（前回42.3%）と最も多かったが、前回より10.5%減少した。「11～20L」・「21L～」の割合が47.3%（前回32.3%）と前回より15.0%増加した。

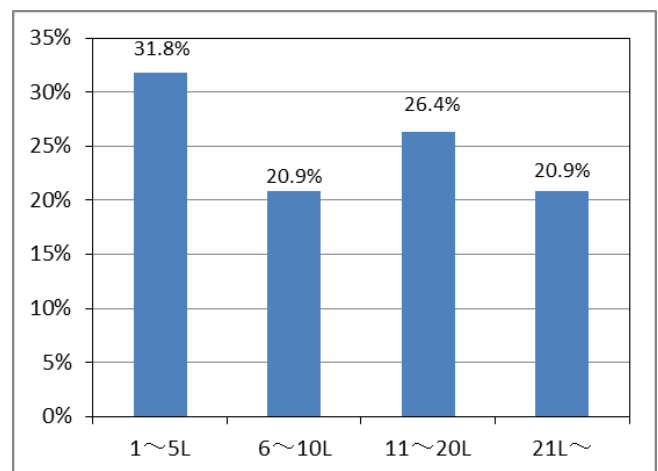
問14 ボトルウォーター（ミネラルウォーター）を購入されていますか。



●どのような目的で購入されていますか。（複数回答可）



●1ヶ月の購入量はどれくらいですか。

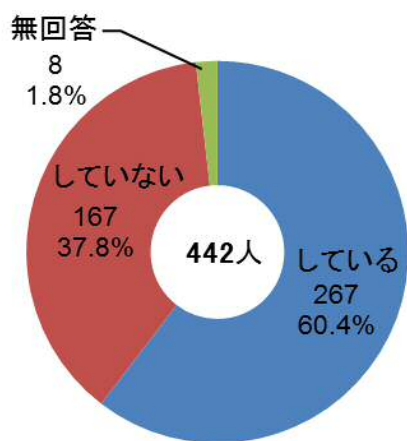


災害時の飲料水の備蓄を「している」のは60.4%（前回42.5%・前々回33.3%）、「していない」は37.8%（前回56.5%・前々回65.8%）であり、備蓄に対する意識が増加傾向にあった。1ヶ月の量は「1～5L」が28.8%（前回20.3%）と最も多かった。

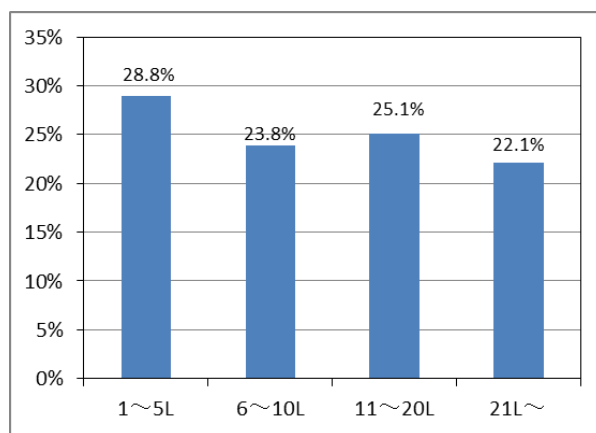
お風呂に水をためている（「常時ためている」・「たまにためている」）が50.9%（前回47.1%）と半数を超えた。また、その他の災害への備えとしては、「非常用バッグ・非常食の用意」や「予測できる災害の直前に水の備え」などの意見が多数見られた。

平成30年度は自然災害が多く、災害時の備えは前回と比べて上回る結果であった。今後とも水の備蓄の重要性、備蓄方法を啓発する必要がある。

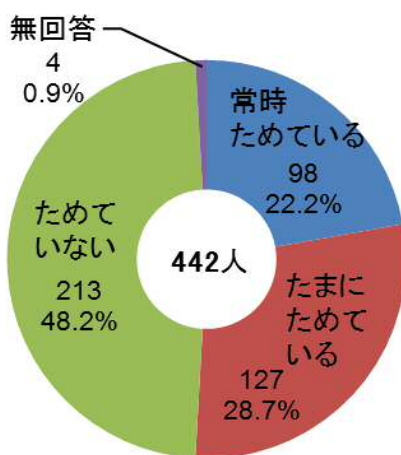
問15 あなたは災害時に備えて飲料水のくみ置きやボトルウォーターの買い置きをしていますか。



●1ヶ月の量はどれくらいですか。



●お風呂に水をためていますか。

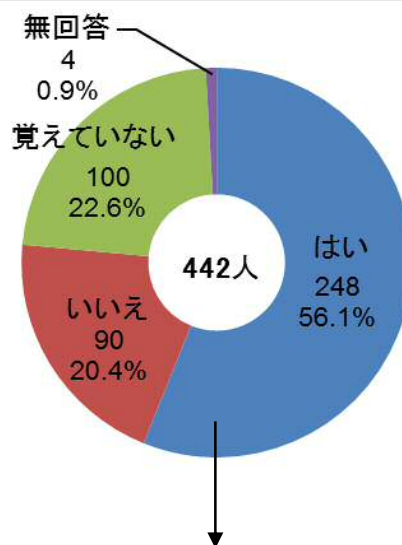


漏水・浸水について

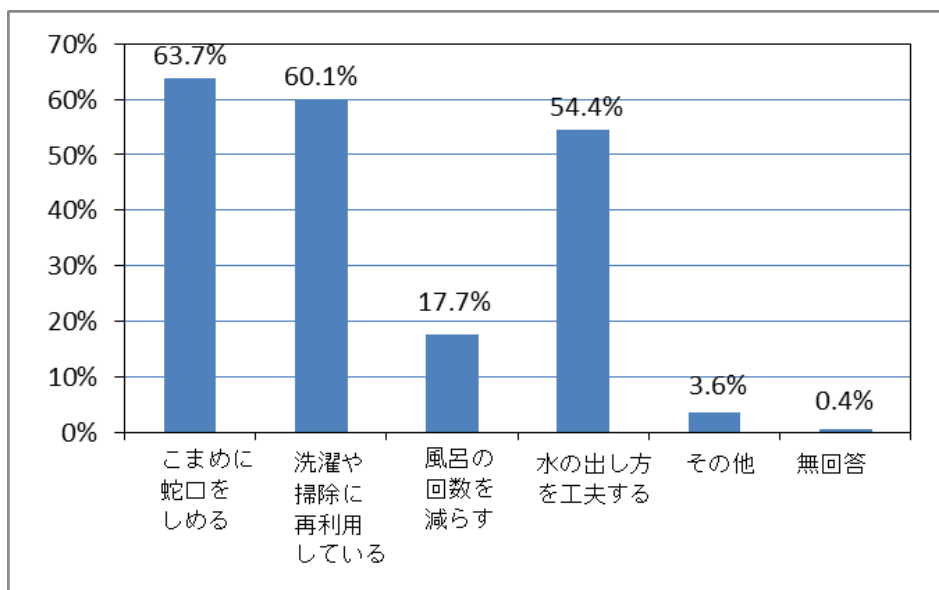
漏水を知ったときには56.1%（前回68.4%・前々回69.9%）の方が何らかの節水を行っていた。取水制限等が平成26年8月に実施されたが、14日間という短期間であり、漏水問題への意識が減少傾向にあった。

漏水時の節水方法としては、「こまめに蛇口をしめる」が63.7%と最も多く、「お風呂の残り湯を洗濯や掃除に再利用している」が60.1%、「水の出し方を工夫する」が54.4%と続く。その他としては「散水をやめる、又は使用を控える」や「植木への水やりに雨水を使用する」などという意見が見られた。

問16 これまで新聞やテレビ、広報誌などで漏水を知ったとき、何らかの節水を行いましたか。



●「はい」とお答えになった方で、どのようにして節水していますか。（複数回答可）

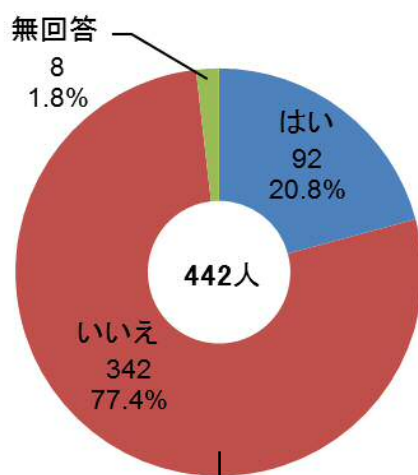


浸水時の対策として20.8%の方が何らかの準備をするよう心掛けていた。問13の下水道事業の取組みでは、「浸水対策」は8割を超えて重要度が高いと認知されているが、準備をする意識は低い結果となった。平成30年7月に西日本豪雨があり、近畿地方でも浸水被害があったが、池田市では被害が少なく、意識が低かったと考えられる。

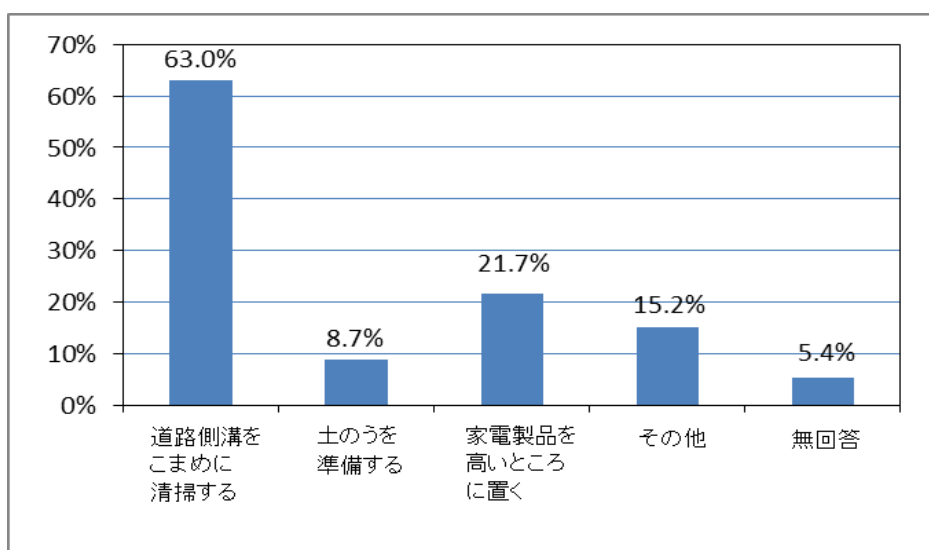
浸水時の節水方法としては、「道路側溝をこまめに清掃する」が63.0%と大半を占め、「家電製品を高いところに置く」が21.7%と続く。その他としては「外に物を出さない」や「水・食品の備蓄」などという意見が見られた。

近年、集中豪雨や大雨が増えているため、事前に内水ハザードマップの周知を図り、浸水時の対策の重要性、手段を啓発する必要がある。

問17 ここ数年、局地的な豪雨が頻発していますが、浸水時の対策として何らかの準備をするよう心掛けていますか。



●「はい」とお答えになった方で、どのような対策をしていますか。(複数回答可)

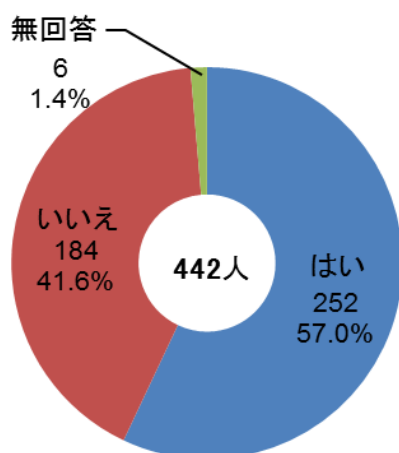


水道料金・下水道使用料

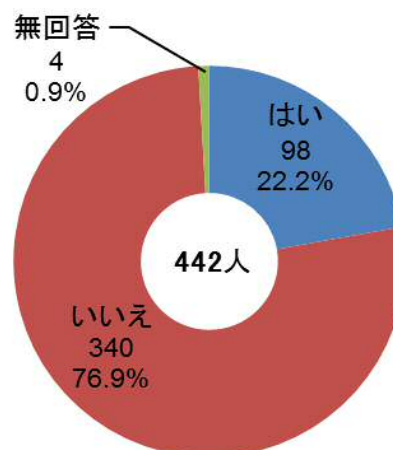
水道料金のしくみについて独立採算制であることを認識している方は 57.0%（前回 65.7%）となり、前回から 8.7%減少した。

下水道使用料のしくみについて「知っている」のは 22.2%（前回 21.4%）で、水道料金と比べてかなり低い結果となった。雨水は税金で、汚水は下水道使用料といった区別があるため、複雑で理解しがたいものと推察される。

問 18 水道事業は税金ではなく、水道料金で運営していることをご存知ですか。



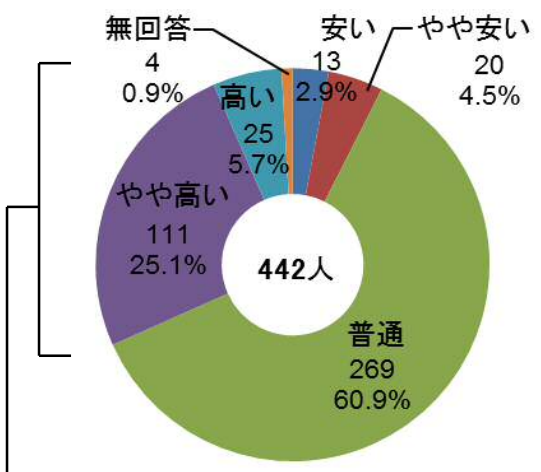
問 19 雨水を排除する費用は公費(税金)があてられ、汚水処理費には下水道使用料があてられることをご存知ですか。



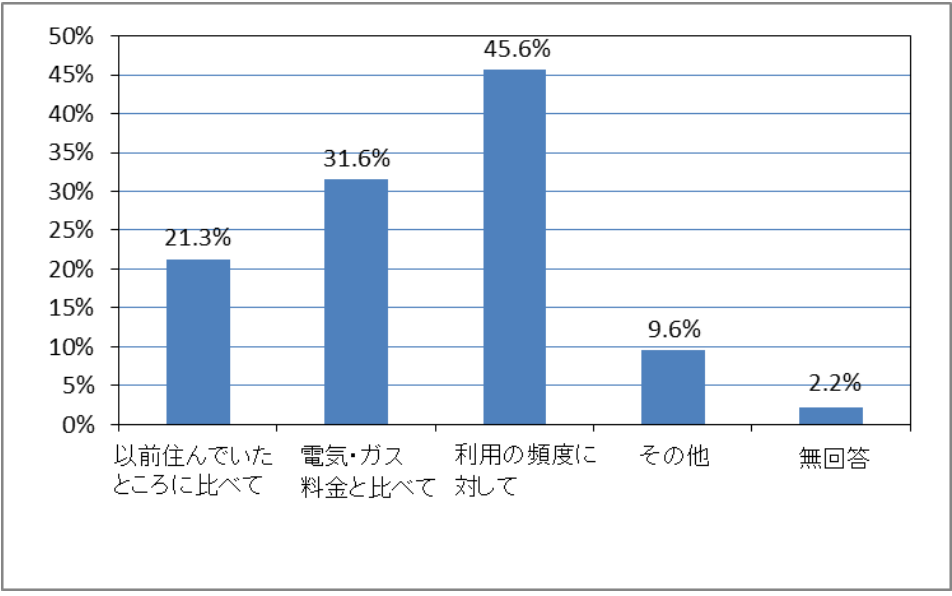
水道料金の料金について「普通」という意見が60.9%(前回54.1%)で最も多かった。「やや高い」、「高い」と回答された方の合計は30.8%(前回38.0%)、「やや安い」、「安い」と回答された方の合計は7.4%(前回7.1%)であった。

水道料金が「やや高い」、「高い」の方にそう感じる理由を聞いたところ、「利用の頻度に対して」・「電気・ガス料金に比べて」の方が多かった。

問20 水道料金についてどのように感じられておられますか。

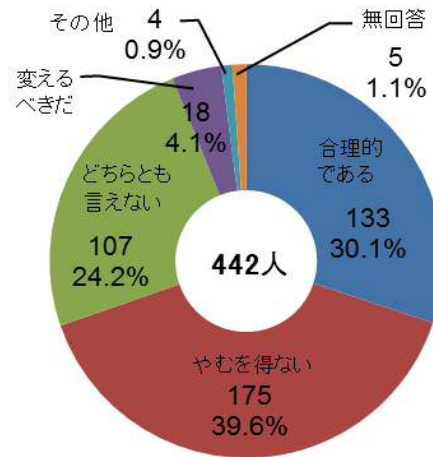


●「やや高い」、「高い」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)



料金体系の「累進使用料制」については、「やむを得ない」が 39.6%(前回 35.5%)が最も多く、次いで「合理的である」が 30.1%(前回 9.4%)を占めた。「変えるべきだ」は 4.1%(前回 10.8%)となった。

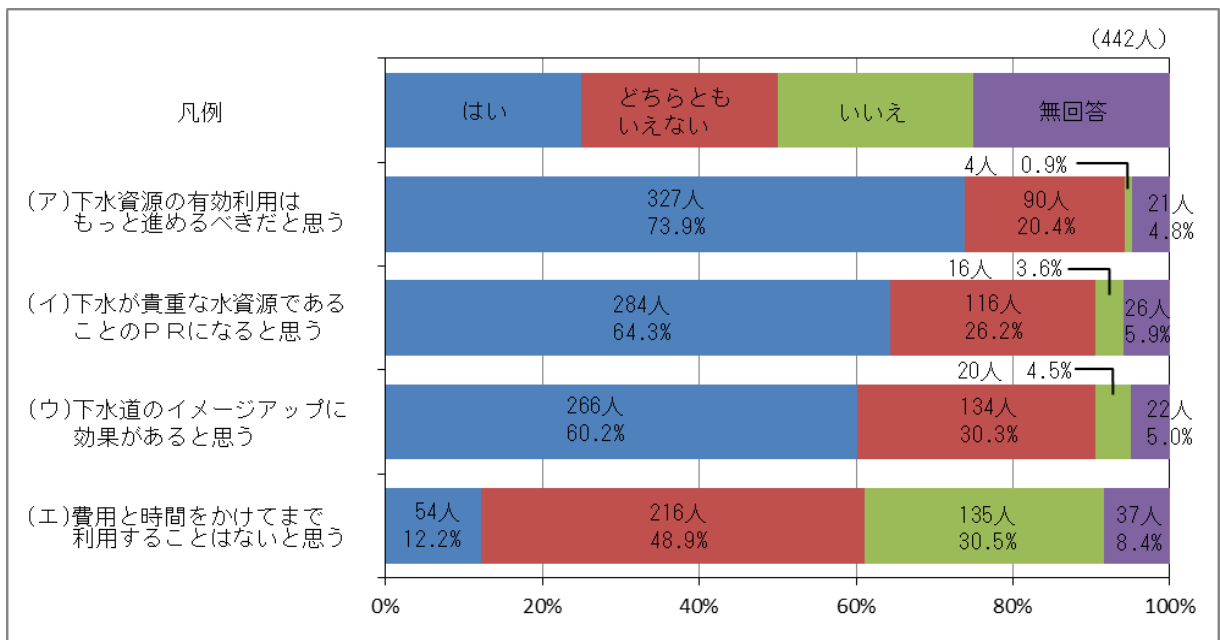
問 21 現行の料金体系は、使えば使うほど 1 m³あたりの単価が高くなり、工場などの大口利用者ほど多く水道料金、下水道使用料が掛かる仕組みとなっていますが、この料金体系についてどう思いますか。



資源の有効利用について

下水の処理水の有効活用する取組みについては、「下水資源の有効利用はもっと進めるべき」が73.9%(前回73.9%)と最も多く、理解を得られているようである。「下水が貴重な水資源であることのPRとなると思う」が64.3%(前回65.5%)を占めた。「下水道のイメージアップに効果があると思う」が60.2%(前回53.3%)を占め、前回より6.9%増加した。「費用と時間をかけてまで利用することはない」について「どちらともいえない」が48.9%(前回51.2%)が最も多かった。その他の意見としては、「有効利用のPR不足」、「せせらぎ水路のPR不足」などの意見が見られた。

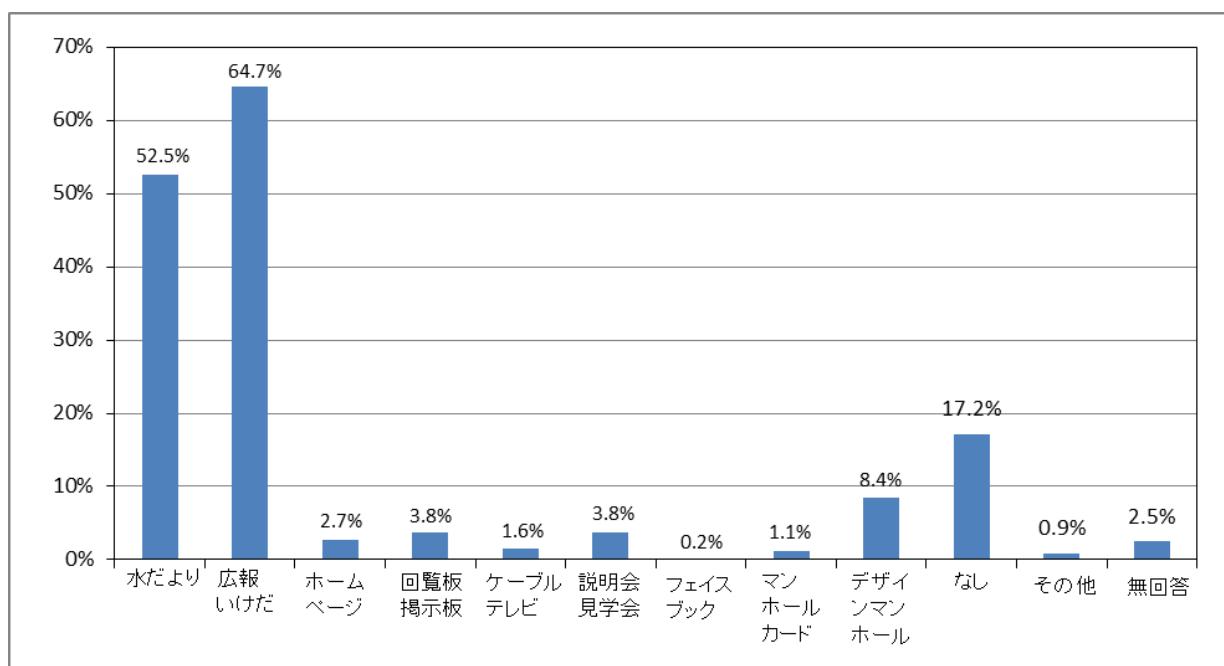
問 22 下水は、処理水を阪急池田駅前のせせらぎ水路に流して修景用水として利用したり、汚泥を建設資材として活用したりしています。このような取組みについてどう思いますか。



広報・PRについて

上下水道事業の情報源については、「広報いけだ」が64.7%(前回60.4%)と最も高く、次いで「水だより」が52.5%(前回53.1%)と高かった。その他の情報源については、どれも極端に低く残念な結果となった。「水だより」に次いで、「デザインマンホール」が8.4%を占めた。「ホームページ」では2.7%(前回0.6%)と前回より1.1%改善したが、「フェイスブック」では0.2%と低く、一度はアクセスしてもらえるよう工夫が必要である。

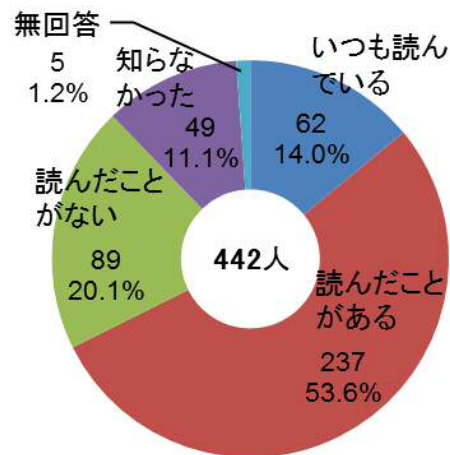
問 23 上下水道事業に係る情報にふれたことがありますか。(複数回答可)



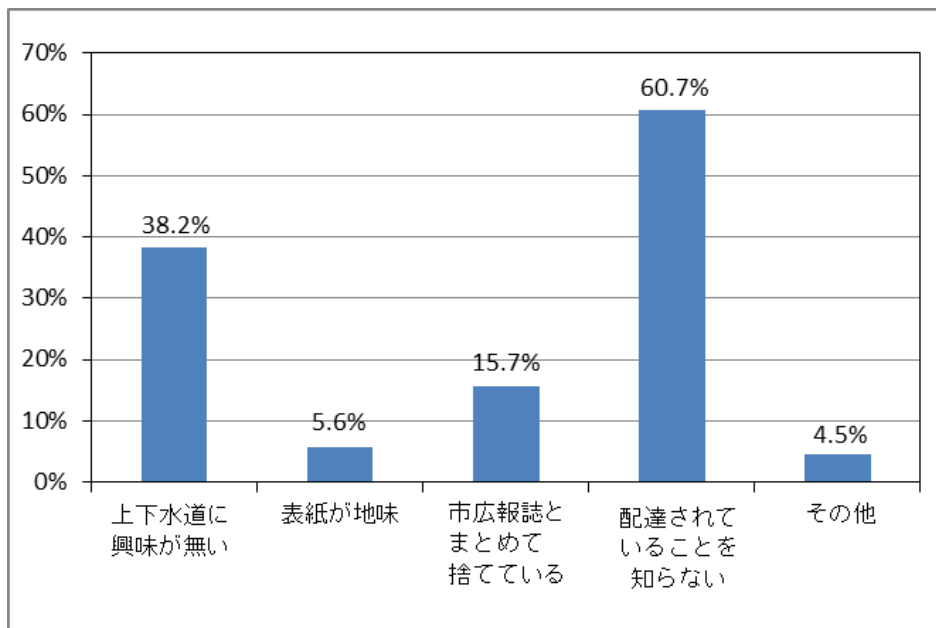
上下水道部広報紙「水だより」を「いつも読んでいる」のが 14.0%(前回 16.3%)、「読んだことがある」が 53.6%(前回 55.1%)で、67.6%(前回 71.4%)の方に目を通していただいている。

水だよりを読んだことがない理由では、「配達をされていることを知らない」が最も多く、次いで「上下水道に興味がない」が多かった。

問 24 広報紙「水だより」を年 4 回発行していますが、読まれたことがありますか。

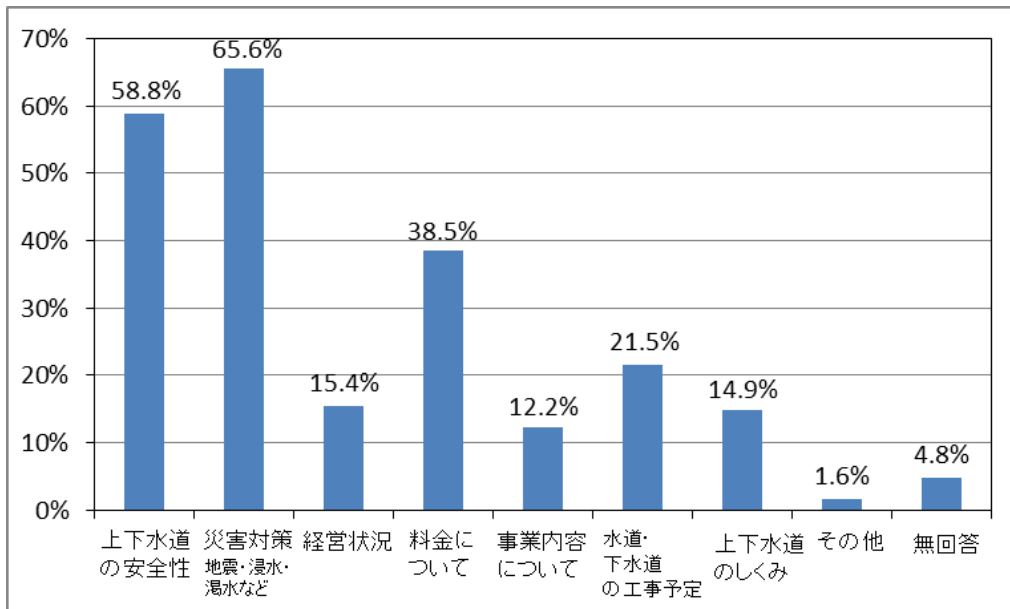


●「読んだことがない」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)



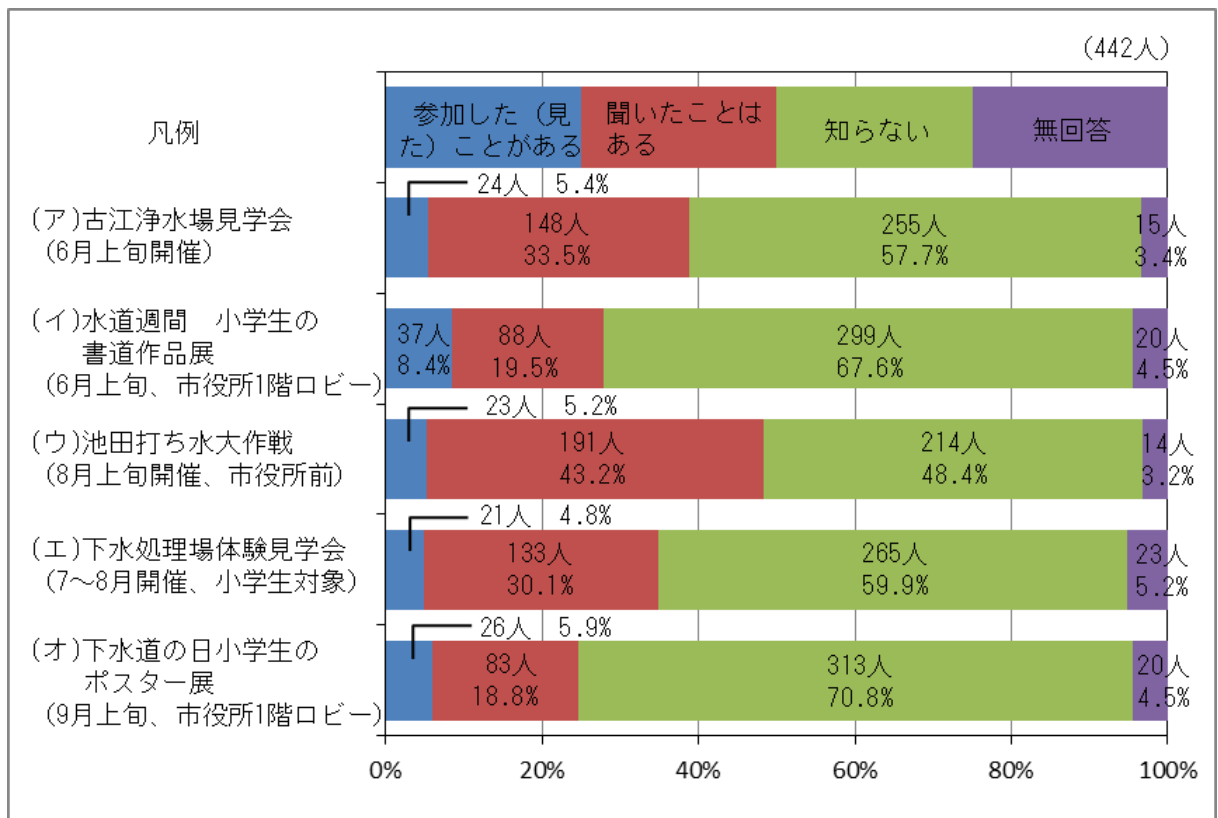
上下水道のことで知りたい情報は「災害対策」・「上下水道の安全性」・「料金について」が上位3位であった。前回の最も多い「上下水道の安全性」と比べて、「災害対策」が1位の結果となった。

問 25 上下水道のことで知りたい情報は何ですか。(複数回答可)



上下水道部が主催している各イベントについて、「池田打ち水大作戦」の認知度（「参加したことがある」・「聞いたことはある」と回答された割合の合計）が 48.4%と最も多かった。しかし、「知らない」と回答された割合も同数あった。次に「古江浄水場見学会」が 38.9%、「下水道処理場体験見学会」が 34.9%と多く、「水道週間小学生の書道作品展」が 27.9%、「下水道の日小学生のポスター展」が 24.7%と続いた。見学会と作品展示では、下水道事業に比べて、水道事業のイベントの方が認知度が高い傾向にあった。

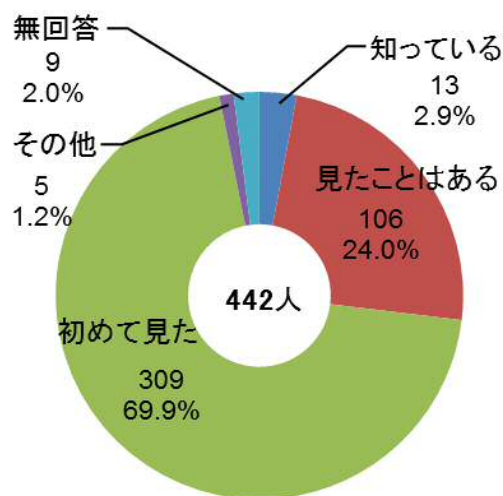
問 26 上下水道部が主催している各イベントについて、あてはまるものを1つだけ選んでください。



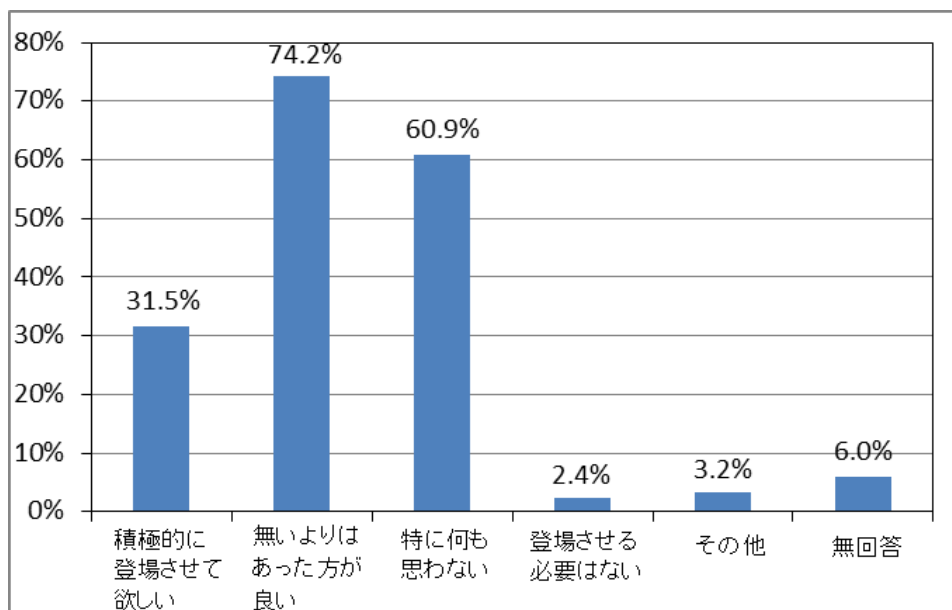
平成 28 年 11 月から上下水道部の公式イメージキャラクターとして、パンフレットや
 広報紙、ホームページに「ぴちよりん」を活用している。「初めて見た」が 69.9%と 7
 割弱が知らない状況であった。「知っている」、「見たことはある」は 3 割弱であった。

「ぴちよりん」による PR 活動について「無いよりはあった方が良い」、「特に何も思
 わない」が大半を占めた。「登場させる必要はない」は最も少なく、市民に親しみのあ
 るキャラクターとして認知度を上げて、今後とも情報発信を推進したい。

問 27 上下水道部では、イメージキャラクター「ぴちよりん」による事業の PR
 活動を展開していますが、このキャラクターを知っていますか。



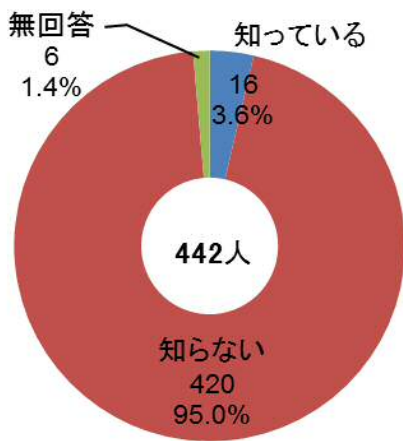
● ぴちよりんは、上下水道部のイベント、広報紙「水だより」等で登場して事業
 の PR 活動に活躍していますが、どう思いますか。(複数回答可)



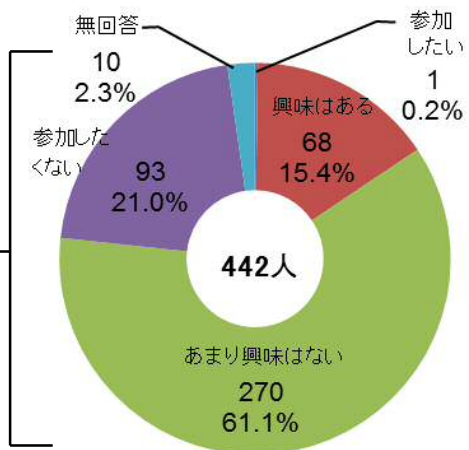
上下水道サポーター会議

平成 29 年度より上下水道モニター会議を上下水道サポーター会議に改めて、引き続きサポーターの意見を聞き、上下水道事業の運営に反映させるために開催している。サポーター会議を「知らない」が 95.0%(前回 83.5%)と 9 割を超え、「参加したい」、「興味はある」の割合は 15.6%(前回 19.2%)であった。サポーター会議に希望する内容には、上下水道の未来や災害時の飲料水の確保など様々な意見が寄せられた。サポーター会議に「あまり興味はない」、「参加したくない」理由としては、「現状に満足していて、特に言うことがない」、「日程が合わない」が多かった。その他の理由としては「高齢や体調の都合、子育てが忙しく参加困難」、「平日は困難」という意見があった。

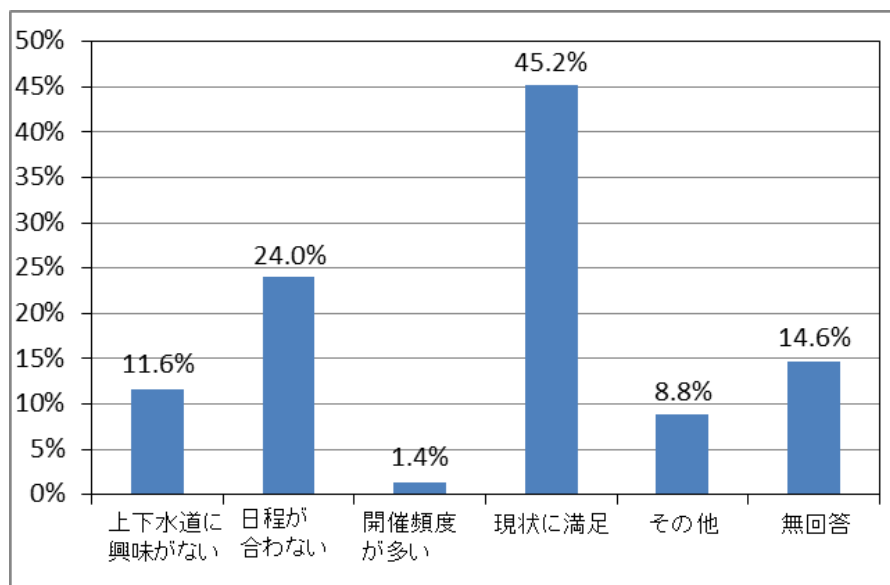
問 28 上下水道サポーター会議をご存知ですか。



問 29 上下水道サポーター会議に参加してみたいと思いますか。



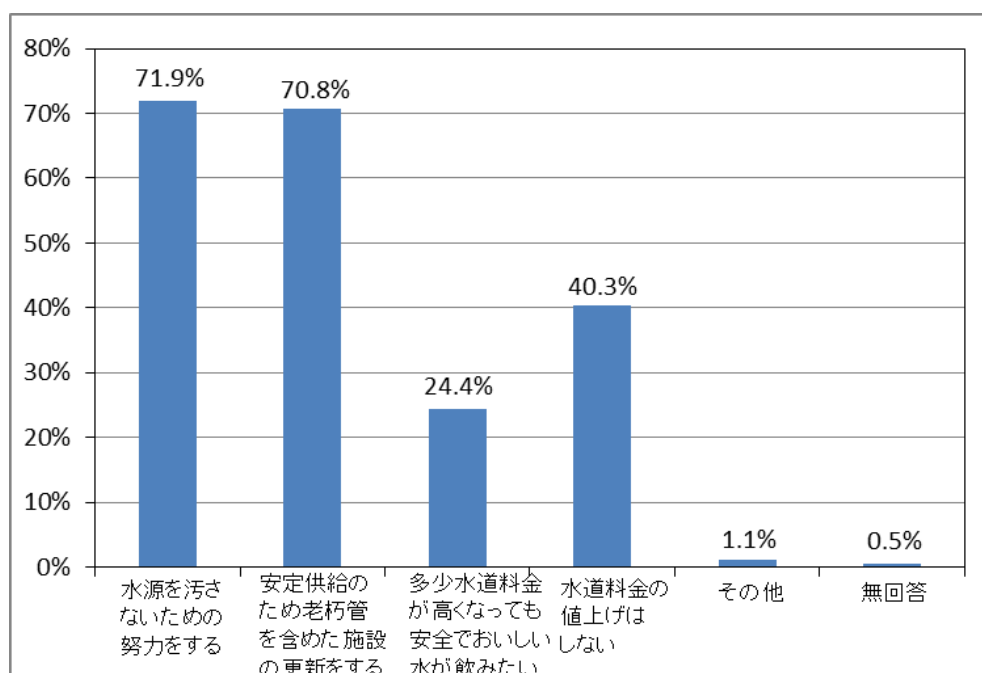
●「あまり興味はない」または「参加したくない」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)



これからの上下水道に望むこと

水道事業の使命については、「水源を汚さないための努力をする」が71.9%(前回77.3%)と最も多かった。次に「安定給水のため老朽管を含めた施設の更新をする」が70.8%(前回58.6%)となり、前回より12.2%増加した。全国的に耐用年数を超える水道施設が増え、水道施設の老朽化に対する意識が向上したと推察される。

問30 池田市では、水道の大きな使命である安心して飲める水を安定供給するため、また安定した水処理を行うため、様々な事業に取り組んでいます。将来を考えた場合、あなたはどのようなことを望みますか。(複数回答可)



上下水道についてのアンケート調査

平素は、池田市上下水道事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

上下水道部では、上下水道事業運営の基礎資料とするため、皆様に上下水道のご利用実態や上下水道に関する意識調査等のアンケートをお願いしています。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査は、無作為に選ばせていただいた 1000 世帯の皆様をお願いしております。また、回答いただいた内容については調査目的のみに利用し、他の目的には利用いたしません。

平成 30 年 11 月

池田市上下水道部経営企画課

回答にあたって

- このアンケートのあて名は、上下水道のご使用者としてお届けいただいている方のお名前になっていますが、ご家族の中で最も上下水道の使用状況について詳しい方に回答いただきますようお願いいたします。
- 回答は、特に指定がない場合は、設問ごとに1つだけ○印をつけてください。
- ご記入いただきました調査票は、11月26日(月)までに同封の返信用封筒に入れて、ご返送下さい。
- 回答にあたりご不明な点がございましたら、上下水道部経営企画課までお問い合わせ願います。
- 結果につきましては、後日ホームページ(<http://www.ikedashi-suido.jp/>)等で公開する予定です。

(電話)072-754-6069 (FAX)072-751-3852 担当：森、木利

基本属性

問1 あなたの性別は。

- (1) 女性 (2) 男性

問2 あなたの年齢は。

- (1) 10歳代 (2) 20歳代 (3) 30歳代 (4) 40歳代 (5) 50歳代
(6) 60歳代 (7) 70歳以上

問3 同居人数は、ご自身も含めて何人ですか。

- (1) 1人 (2) 2人 (3) 3人 (4) 4人 (5) 5人
(6) 6人 (7) 7人以上

問4 あなたは池田市に住まれて何年になりますか。

- (1) 1年未満 (2) 1～5年 (3) 6～10年 (4) 11～20年
(5) 21年以上

問5 あなたのお住まいはどのような建物ですか。

- (1) 一戸建て (2) 5階建てまでの集合住宅（マンション、アパート等）
(3) 6階建て以上の集合住宅等 (4) その他（ ）

問6 お住まいの地域はどちらになりますか。

- (1) 阪急沿線より南 (2) 阪急沿線より北 ～ 五月山より南
(3) 五月山より北（細河・伏尾台区域）

水道水の安全性

問7 水道水をどのようにして飲みますか。

- (1) 直接飲む (2) 煮沸して飲む (3) 浄水器を通して飲む (4) 飲まない
(5) その他（ ）

●水道水を飲む方（飲み方は問わない）にお聞きします。池田市の水道水の味について、どのように感じますか。

- (1) おいしい (2) 普通 (3) まずい (4) 特に気にしていない
(5) その他（ ）

●水道水を煮沸して飲む方、浄水器を通して飲む方、飲まない方にお聞きします。それはなぜですか。（複数回答可）

- (1) 安全性が気になる (2) においが気になる (3) 味がまずい
(4) その他（ ）

問8 現在の浄水処理方法をレベルアップした高度浄水処理方法があります。この高度浄水処理をすれば水道の水質はさらによくなりますが、料金は高くなります。それをどのように思いますか。

- (1) 高くなってもよい (2) 今のままでよい (3) どちらともいえない

水道水の使用状況

問9 お風呂（シャワーを含む）は毎日入りますか。

- (1) はい (2) いいえ（週 回）

●湯船にお湯は溜めていますか。

- (1) はい（毎回） (2) ときどき（週 回） (3) いいえ（シャワーのみ）
(4) その他（ ）

問10 洗濯は何回しますか。

- (1) 毎日2回以上 (2) 1日に1回 (3) 2～3日に1回
(5) 4～5日に1回くらい (6) その他（ ）

問11 ご自宅の水道の水圧をどのように感じますか。

- (1) 強すぎる (2) ちょうどよい (3) 弱すぎる
(4) その他（ ）

下水道の役割やしぐみ

問12 あなたは、次のような下水道の役割やしぐみをご存知ですか。（ア）から（カ）までの各項目について、あてはまるものをどちらか選んでください。

	知っている	知らない
(ア) 大雨による浸水から街を守ること	1	2
(イ) 川や海をきれいに保つため、汚れた水を処理すること	1	2
(ウ) 水洗トイレが使用できること	1	2
(エ) 不潔なドブがなくなり、街並みがきれいになること	1	2
(オ) 汚泥（下水処理過程で生ずる泥）を資源化して有効利用すること	1	2
(カ) 処理した下水を、街路樹への散水や、せせらぎ水路の水源として再利用すること	1	2

問13 あなたは、次のような下水道の取組みについてどの程度重要だと思いますか。

(ア) から (エ) までの各項目について、考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

	非常に重要	どちらかといえ ば重要	どちらともい えない	どちらかといえ ば重要ではない	重要でない
(ア) 老朽化した下水道施設が増えてきているので、改築・更新を行う（作り替える）	1	2	3	4	5
(イ) 都市化の進む市街地での浸水対策を強化する（雨水貯留管等の整備）	1	2	3	4	5
(ウ) 大阪湾や河川の水質改善を目的に、通常の処理水より水質を向上させる「高度処理」を推進する（川や海の水質改善）	1	2	3	4	5
(エ) 下水道管や下水処理場などの地震対策を充実させる	1	2	3	4	5

災害対策

問14 ボトルウォーター（ミネラルウォーター）をどれくらい購入していますか。

(1) 購入している（1ヵ月で約 リットル） (2) 購入していない

●購入している方にお伺いします、どのような目的で購入していますか。（複数回答可）

(1) 飲料用 (2) 調理用 (3) 災害時用 (4) その他（ ）

問15 災害時（震災など）の備えとその対策についてお聞きします。

●あなたは災害時に備えて、飲料水のくみ置き（ボトルウォーターを含む）をしていますか。

(1) している（約 リットル） (2) していない

●災害対策として、お風呂に水をためていますか。

(1) 常時ためている (2) たまにためている (3) ためていない

●上記以外に災害に備えて行っていることがあればご記入ください。

（ ）

渇水・浸水について

問16 これまで新聞やテレビ、広報誌などで渇水を知ったとき、何らかの節水を行いましたか。

(1) はい (2) いいえ (3) 覚えていない

●「はい」とお答えになった方で、どのようにして節水していますか。(複数回答可)

- (1) こまめに蛇口をしめる (2) お風呂の残り湯を洗濯や掃除に再利用している
(3) 風呂の回数を減らす (4) 水の出し方を工夫する
(5) その他 ()

問17 ここ数年、局地的な豪雨が頻発していますが、浸水時の対策として何らかの準備をするよう心掛けていますか。

- (1) はい (2) いいえ

●「はい」とお答えになった方で、どのような対策をしていますか。(複数回答可)

- (1) 道路側溝をこまめに清掃する (2) 土のうを準備する
(3) 家電製品を高いところに置く (4) その他 ()

※雨が降ると下水道管に流れる水の量が増えるため、集中豪雨が予想される場合は、なるべくお風呂や洗濯を控えて、排水を減らすようご協力をお願いします。

水道料金・下水道使用料

問18 あなたは、水道事業は税金ではなく水道料金で運営していることをご存知ですか。

- (1) はい (2) いいえ

問19 あなたは、下水道事業は、雨水を排除する費用は公費(税金)があたり、汚水処理費には下水道使用料があたり、ことをご存知ですか。

- (1) はい (2) いいえ

問20 水道料金、下水道使用料についてどのように感じていますか。

- (1) 安い (2) やや安い (3) 普通 (4) やや高い (5) 高い

ご注意：電気・ガス料金は1カ月毎のお支払いですが、水道料金は下水道使用料と合わせて2カ月分を一度にお支払いいただいております。

●「やや高い」、「高い」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)

- (1) 以前住んでいたところと比べて (2) 電気・ガス料金と比べて
(3) 利用の頻度に対して (4) その他 ()

問21 現行の料金体系は、使えば使うほど1m³あたりの単価が高くなり、工場などの大口利用者ほど多く水道料金、下水道使用料が掛かる仕組みとなっていますが、この料金体系についてどう思いますか。

- (1) 合理的である (2) やむを得ない (3) どちらとも言えない
(4) 変えるべきだ (5) その他 ()

資源の有効利用について

問22 下水は、処理水を阪急池田駅前のせせらぎ水路に流して修景用水として利用したり、汚泥を建設資材として活用したりしています。このような取組みについてどう思いますか。

(ア) から (エ) までの各項目について、それぞれあてはまるものを1つだけ選んでください。また、その感想などがありましたら (オ) にご記入ください。

	はい	どちらでもない	いいえ
(ア) 下水資源の有効利用はもっと進めるべきだと思う	1	2	3
(イ) 下水が貴重な資源であることのPRになると思う	1	2	3
(ウ) 下水道のイメージアップに効果があると思う	1	2	3
(エ) 費用と時間をかけてまで利用することはないと思う	1	2	3
(オ) その他 (具体的に記入)			

広報・PRについて

問23 上下水道事業に係る情報にふれたことがありますか。(複数回答可)

- (1) 上下水道広報紙「水だより」 (2) 池田市広報誌「広報いけだ」
 (3) ホームページ (4) 回覧板や掲示板 (5) ケーブルテレビ
 (6) 説明会や見学会 (7) フェイスブック (8) マンホールカード
 (9) デザインマンホール (10) なし
 (11) その他 ()

問24 広報紙「水だより」についてお聞きします。

●年4回発行していますが、読まれたことがありますか。

- (1) いつも読んでいる (2) 読んだことがある
 (3) 読んだことがない (4) 広報紙があること自体知らなかった

●「読んだことがない」と回答された方にお聞きします。

それはなぜですか。(複数回答可)

- (1) 上下水道に興味がない (2) 表紙が地味 (3) 市広報誌とまとめて捨てている
 (4) 配達されていることを知らない (5) その他 ()

問25 上下水道のことで知りたい(興味がある)情報は何か。(複数回答可)

- (1) 上下水道の安全性 (2) 災害対策(地震・浸水・濁水など) (3) 経営状況
 (4) 料金について (5) 事業内容について (6) 水道・下水道の工事予定
 (7) 上下水道の仕組み (8) その他 ()

問29 あなたは、上下水道サポーター会議に参加してみたいと思いますか。

- (1) ぜひ参加したい
- (2) 興味はある
- (3) あまり興味はない
- (4) 参加したくない

● (1) または (2) と回答された方にお聞きします。どのような内容を希望しますか。
()

● (3) または (4) と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)

- (1) 上下水道に興味がない
- (2) 日程が合わない
- (3) 開催頻度が多い
- (4) 現状に満足していて、特に言うことがない
- (5) その他 ()

これからの上下水道に望むこと

問30 池田市では、上下水道の大きな使命である安心して飲める水を安定供給するため、また安定した水処理を行うため、様々な事業に取り組んでいます。将来を考えた場合、あなたはどのようなことを望みますか。(複数回答可)

- (1) 水源を汚さないため努力する
- (2) 安定供給、処理のため老朽管を含めた施設の更新を進める
- (3) 多少料金が高くなっても、安全でおいしい水が飲みたい
- (4) 水道料金、下水道使用料の値上げはしない
- (5) その他 ()

★その他、上下水道事業に関してお気づきの点がありましたら、ご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。